

平成 28 年 7 月 14 日
 中国四国管区行政評価局

太田川デルタの河川堤防上における水の事故防止のあっせんに対する回答
 ～行政苦情救済推進会議の意見を踏まえたあっせん～

かわうちつとむ

中国四国管区行政評価局は、下記の行政相談を受けて、行政苦情救済推進会議（座長：川内 磊 広島修道大学法学部教授）に諮り、その意見を踏まえ、平成 28 年 5 月 30 日、中国地方整備局に対し、水による事故防止のため、公園の管理者との一体的な安全管理や教育委員会等と連携した啓発活動を推進するようあっせんしました。

このたび、中国地方整備局から下記のとおり、検討結果の回答がありました。

【本件のきっかけとなった行政相談要旨】

広島市内を流れる旧太田川では、堤防から水面近くに降りることのできる階段が多く設置されている。先日、児童公園のある堤防付近で小学生の児童が堤防の階段を降りて水面間近で遊んでいるのを見かけた。近くに保護者もおらず、事故が起きてからでは遅いので、事故防止のための何らかの措置をすべきではないか。

【当局あっせん内容及び中国地方整備局からの回答】

当局あっせん内容	あっせんに対する回答
<p>中国地方整備局は、「水の都リバーウォーク」を推進するとともに、水による事故防止の観点から、太田川デルタにおいて管理する河川について、次の事項を検討する必要がある。</p> <p>① 雁木等を点検の上、割れなどの劣化がみられるものについては、継続して監視し、必要に応じて補修等の措置を講じるとともに、河川堤防上の公園の管理者（広島市）と連携して一体的な安全管理を推進すること。</p> <p>② 水の事故の発生や、階段が傾いている等の雁木がみられることを踏まえ、教育委員会、市民団体等と連携し、子供や保護者に対する水による事故防止のための啓発活動を、より一層、推進すること。</p>	<p>① これまで、太田川河川事務所では、河川管理者として、河川巡視（管理区間を 1～2 巡／週）や堤防点検（出水期前及び台風期、並びに出水後、地震後）、安全利用点検（ゴールデンウィーク前、夏休み前）を行い、危険と判断されるものはもとより、劣化の進行等により破損の可能性があるものについて、補修・監視・記録等を行っています。</p> <p>今後も引き続き、これらの取組を適切に実施していくとともに、川の安全利用の面からも公園管理者に協力を求め、連携し点検等を実施していきます。</p> <p>なお、夏休み前の安全利用点検では、公園管理者にも参加いただくよう協力を依頼する予定です。</p> <p>② 川は、川遊びに興じることができる自然豊かな水辺空間である一方で、急な増水により水難事故が発生する場合があるなど、注意を要する面を有していることから、太田川河川事務所では、河川管理者として、これまで、ホームページや水辺の安全教室の開催などにより、啓発活動に努めています。</p> <p>今後も引き続き、これらの取組を実施していくとともに、教育委員会、河川協力団体等にも協力を求めながら、啓発活動を実施していきます。</p> <p>なお、河川愛護月間である 7 月には、水辺の安全教室の開催、FM ラジオを活用した啓発等を計画しており、広島市教育委員会、河川協力団体に協力を依頼する予定です。</p>

◆行政苦情救済推進会議

行政相談事案のうち、様々な視点から検討することが必要と思われる事案の処理について、民間有識者の意見を聴取することにより、より公平・中立かつ的確な処理を推進するために設置

総務省中国四国管区行政評価局

<http://www.soumu.go.jp/kanku/chugoku.html>



【本件照会先】

首席行政相談官 長廻 晴彦

行政相談官 筒井 恒次

電 話：082-228-6174 F A X：082-228-4955

E-mail：

<https://www.soumu.go.jp/hyouka/i-chihou-form.html>